

3. 第3回会議

(1) 会議の概要

日時	令和8年1月25日
場所	世田谷区立教育総合センター 研修室(たいよう)
参加者	15名
テーマ	わたしたちの未来のための気候変動対策を考える

(2) 第3回会議のプログラム

時間	内容
13:00～ (5分)	○開会・あいさつ・ガイダンス
13:05～ (25分)	○グループ討議「わたしたちの未来のための気候変動対策を考える」 ステップ1:第2回振り返り(アイデアの深掘り) ・各グループで出したアイデア(第2回「支援策」)について、次の項目をまとめる ①どうなっていると良いか?(=望ましい状態) ②今、障害となっていること:時間/費用/情報/移動等 ③障害を下げる工夫(必要条件・取組など)
13:30～ (40分)	○基調講演「個人・行動と地域・社会の転換」 講師:国立研究開発法人 国立環境研究所 松橋 啓介 氏 ※質疑応答を含む
14:10～	休憩(10分)
14:20～ (60分)	ステップ2:若者世代の視点から気候変動対策を考える 1. 個人で、地球温暖化対策の上で効果が大きいと思われる取組を選び、ワークシートに書かれている項目を書く。 2. ワークシートに書いた内容を発表し合って、グループとして取り上げる取組を2つ程度選出する。 3. 選出した取組について、グループで話し合いながら模造紙に各項目を記入していく。
15:20～	休憩(10分)
15:30～ (45分)	○全体共有・世田谷区長コメント
16:15～ (15分)	○閉会・全体写真・アンケート記入

(3) 基調講演

「個人・行動と地域・社会の転換」

国立研究開発法人 国立環境研究所 松橋 啓介 氏

【基調講演の内容】

- ・個人の行動から社会システムの転換について
- ・公共交通が使いやすいまち、徒歩・自転車が安全なまちなど、制度づくりの必要性について
- ・交通とまちづくりに関する調査結果について
- ・市民参加の新しい形である「ミニパブリック（気候市民会議）」について（つくば市の事例）
- ・提案を社会に広げる方法について
→「北風と太陽」のように、無理に努力を求めるのではなく、自然と行動が変わる仕組み
- ・個人の生活、地域、しくみの転換について



国立研究開発法人 国立環境研究所
松橋 啓介 氏

【質疑応答のまとめ】

- ・Q1 環境負荷の軽減に関する行動のインセンティブとして金銭的な得が紹介されていたが、金銭的なメリット以外にも、何か行動を促進するようなものはあるか。
(回答)
 - ・人から褒められる・認められることも大きな動機づけになる。
 - ・ポイント付与など、少額でも「応援されている」という感覚が行動を後押しする。心理的な要素も重要。
- ・Q2 「罰則（損）」と「インセンティブ（得）」はどちらが効果的か。「罰則（損）」が設けられている方が、行動を変えやすいのではないか。
(回答)
 - ・罰則のみでは社会が窮屈になるため、最も重要な部分での罰則が必要。
 - ・基本的に守ってほしい行動は罰則なしでも「損にならない仕組み」を設け、さらに緩い誘導でもよい部分は、ポイントなど「得」が有効ではないか。
- ・Q3 世田谷区のように若者・高齢者が共に住む地域を考えるうえで、次のディスカッションでは、どのようなことに着目すべきか。
(回答)
 - ・若者だけで政策を議論すると高齢者からの反対を受ける可能性があるため、政策を考えるうえで、高齢者の視点からのチェックを考えることが必要。

(4) 成果

A+C グループ

提言タイトル	サーキュラーエコノミー	
何をしてほしい？ (制度・仕組みの提案)	修理して繰り返し長く使える製品を製造する企業を優遇する(税金など)	誰に？ <input type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
なぜ必要？ (背景・根拠)	長持ちさせないと、大量消費・生産が止まらず、加速する →ごみの削減へ ・家電は「買い替えた方が安い」状況で、修理文化が衰退しているため	
どうやって実現する？ (具体の仕組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家資格認定の法を整備する ・技術者の環境整備(企業とのマッチング、資格の認定と優遇、etc.) ・高いサステナビリティを実現する製品を扱う企業を優遇する(法、税金等の面でサポート) ・製品を5年で買い替えるのではなく、10年契約などで長く使う仕組みをつくる。 	
期待される効果 (気候変動対策+共便益)	<ul style="list-style-type: none"> 資源の取り合いをしない 持続可能で循環型の社会 ・修理する文化の再興 	

B グループ

<p>提言タイトル</p>	<p>増やすと減らすを「住宅」で実現する提言 ・増やす:再生可能エネルギー、減らす:CO₂</p>	
<p>何をしてほしい? (制度・仕組みの提案)</p>	<p>太陽光パネル設置の補助</p>	<p>誰に? <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)</p>
	<p>断熱性能を上げるための補助</p>	<p>誰に? <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)</p>
<p>なぜ必要? (背景・根拠)</p>	<p>空き家問題の増加 断熱性を上げることによってエネルギー効率を上げ、建物を長く使えるようにする 断熱性を高めることでエネルギー効率を向上させ、CO₂削減にもつなげるため。</p>	
<p>どうやって実現する? (具体の仕組み)</p>	<p>太陽光パネルの設置が今まで難しかった場所を検討する (例えば、ペロブスカイト太陽電池を使えば、建物の窓や外壁などいままで設置が難しかった場所にも、太陽光発電の設置が期待できる) ・既存住宅の断熱改修の補助を行う</p>	
<p>期待される効果 (気候変動対策+共便益)</p>	<p>・エネルギー効率の向上と CO₂削減 ・断熱により、冷え性の改善など、健康状態の向上</p>	

D+E グループ

提言タイトル	世田谷区エコアンバサダーU15	
何をしてほしい？ (制度・仕組みの提案)	学校が企業と連携し、環境問題に関するプロジェクト、イベントを開催する	誰に？ <input type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
	学生にインパクトのある環境教育の実施	誰に？ <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
	「世田谷区エコアンバサダーU15」	誰に？ <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
なぜ必要？ (背景・根拠)	世田谷区より、環境教育に携わる団体、企業に補助金を出してもらう ・従来とは違うインパクトのある環境教育を実現するため。	
どうやって実現する？ (具体の仕組み)	・学校でインパクトのある環境教育を企業と連携してもらう。 ・第三者の専門家に小中学校へ課外学習の授業などを実施してもらい、授業の終了後も生徒が自由に参加できる環境活動プロジェクト(ないし環境ボランティア)を設けておき、質の高い環境教育を実現する。	
期待される効果 (気候変動対策+共便益)	・環境意識の向上	

D+E グループ

<p>提言タイトル</p>	<p>エコpay</p>	
<p>何をしてほしい？ (制度・仕組みの提案)</p>	<p>せたpayに連動できる仕組みにする</p>	<p>誰に？ <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)</p>
	<p>せたpayを使えるようにしてもらう</p>	<p>誰に？ <input type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)</p>
<p>なぜ必要？ (背景・根拠)</p>	<p>・日常生活で環境へ配慮する行動をとれば、インパクトが大きいから。 (例えば、世田谷区民 92 万人が 1 日 1 本ストローを断れば 92 万本削減できる)</p>	
<p>どうやって実現する？ (具体の仕組み)</p>	<p>イベント参加、サステナブルグッズの購入、ストロー断る・エコバッグの使用でポイントが貯まる ・環境団体・NPO の情報を一括で見られるポータルサイトを設立し、イベント、ボランティア募集などの情報を掲載する。 ・環境に良い行動(ストロー断り、リユース容器利用など)を取った場合に、ポイント付与する。 ・せたがや Pay とも連携し、ポイントを相互で交換できるようにする。</p>	
<p>期待される効果 (気候変動対策 + 共便益)</p>	<p>・プラスチックごみの削減 ・環境に関するボランティアの活性化</p>	

F グループ

<p>提言タイトル</p>	<p>食・教育・ゼロエミッション住宅の提言</p>	
<p>何をしてほしい？ (制度・仕組みの提案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロエミッション建築 ・屋上の貸し出し ・菜園(屋上) 	<p>誰に？</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者募集(イベント・体験) ・植樹 	<p>誰に？</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
	<p>収益の配分制度(海・山の植藻・植樹)</p>	<p>誰に？</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学校・教育機関 <input type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
<p>なぜ必要？ (背景・根拠)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域との連携 ・「食料(肉・野菜など)」を生産する過程でも、CO₂が排出されるため、まずは世田谷区でとれた野菜などを食べる。そうすることで、環境にやさしい「食」について考えるきっかけとする。 	
<p>どうやって実現する？ (具体の仕組み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制度設計・企業の協力募集 ・アプリでPR ・キャラクターの利用(世田谷区にゆかりのある) ・区民にポイント加算(せたpay利用) ・空き家の屋上を活用して、貸し出し農場や野菜を作るスペースを設ける。(食・教育・空き家活用の例) ・若者にも届く形で発信する。 	
<p>期待される効果 (気候変動対策+共便益)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化 ・CO₂削減 ・環境行動の「見える化」 ・地域活性化 	

【第3回世田谷版気候若者会議の様子】

